

HiKOKI

取扱説明書

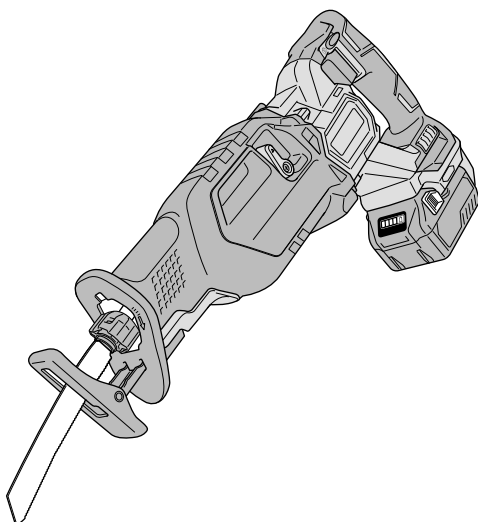
用途

- パイプ、アングルの切断
- 各種木材の切断および窓抜き
- 軟鋼板、アルミ板などの切断
- ベークライト、塩化ビニールなどの各種合成樹脂の切断

コードレスセーバー

36V CR36DA

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
USB 機器との接続時のご注意	6
リチウムイオン電池の使用上のご注意	7
各部の名称	9
仕様	11
別売部品	13

はじめに

蓄電池の取りはずし・取付け	17
スイッチロックボタンについて	18
スイッチについて	18
速度調整について	19
ストロークモードについて	20
ブレードの取付け・取りはずし	21
ベース位置の調整	23
フックの使い方	23
LED ライトの使い方	24
LED ライトの警告シグナルについて	24
電池残量について	25
切断する	27
窓抜き切断	29
作業上のご注意	32
蓄電池を充電する	33
USB 機器を充電する	35

使い方

保守・点検	37
故障診断	41
ご修理のときは	裏表紙

その他

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠ 警告**」、「**⚠ 注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「**⚠ 注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。

指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 充電器の使用温度範囲外では、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。

⚠ 警告

- ③ **蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**
発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- ⑤ **感電に注意してください。**
ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。
- ⑥ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用したり、放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体・ガスがある所での使用、充電、保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑦ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑧ **加工するものをしっかりと固定してください。**
加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。
- ⑨ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
 - 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
 - 刃物、ビットなどの付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて連ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑪ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。
- ⑫ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**
破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠️注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、コードレス工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
 - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

⚠注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
 - 充電器を使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑩ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑪ **屋外使用に合った延長コードを使用してください。**
屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- ⑫ **油断しないで十分注意して作業をしてください。**
 - コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑬ **損傷した部品がないか点検してください。**
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。
- ⑭ **コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。**
 - サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
 - コードレス工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスセーバソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
埋設物があるとブレードが触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② 使用中は、工具本体を確実に保持してください。
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ③ 使用中は、ブレードや切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。
- ④ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑤ 誤って落としたり、ぶつけたときは、ブレードや機体などに破損や亀裂、変形がないことを良く点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑥ 工具本体、および蓄電池の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
蓄電池を取付けた場合に短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。
- ⑦ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

⚠注意

- ① ブレードや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でない、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用直後のブレードは高温になっているので、触れないでください。
やけどの原因になります。
- ③ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ④ 工具本体の外枠にある風穴に異物を入れないでください。
モーターがロックし、故障の原因になります。
- ⑤ 精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水にぬらさないでください。
動作不良、誤動作等をおこす原因になります。
- ⑥ ライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。
ライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。
- ⑦ 蓄電池は確実に取付けてください。
確実でない、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。
- ⑧ スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
- ⑨ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- ⑩ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑪ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

USB 機器との接続時のご注意

本製品に標準付属 (NN 仕様を除く) されている充電器には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

USB 機器を充電する際は、以下の内容を守ってください。

予期できない問題が生じた場合、接続した USB 機器の内部に保存されているデータが破損したり消失する可能性があります。万一の場合に備えて、必ず事前にバックアップをしてください。

なお、USB 機器との接続において、USB 機器の内部に保存されているデータの破損または消失および接続機器の故障については、いかなる場合においても弊社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN仕様を除く)
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記①、②、③の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
このときは速やかに充電してください。
- ② 工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。このときは、蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次項に述べる注意事項を守ってください。

警告

蓄電池の液漏れ、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 作業中に機体に付いた切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 使用しないときに切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品(ねじ、釘など)とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+)(-)を逆にして使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑦ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。

⚠ 警告

- ⑧ 蓄電池が液漏れしたり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑨ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑩ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形、その他異常に気がついたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店にご相談ください。

⚠ 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

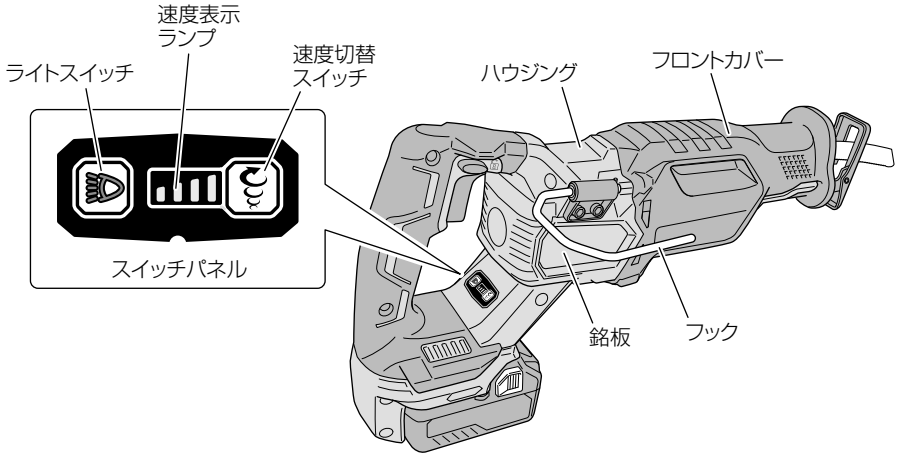
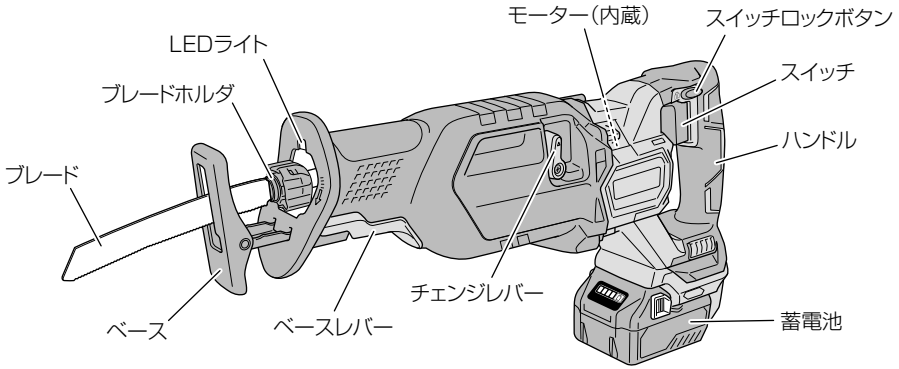


○ 新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

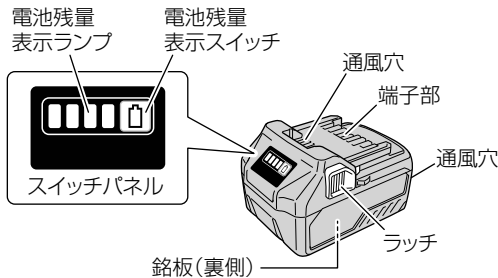
弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

各部の名称

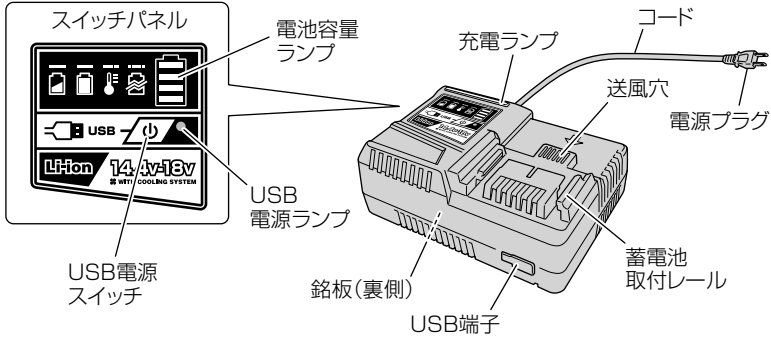
工具本体



蓄電池



充電器



標準付属品

品名 (形名)	形名仕様	CR 36DA	
		XP	NN
ブレード (No.141(S))		1本	1本
蓄電池 BSL36A18		1個	—
充電器 UC18YDL		1台	—
収納ケース		1個	—
電池カバー		1個	—

仕 様

1. 工具体体

形 名		CR 36DA
能 力	パイプ	軟鋼パイプ 外径 130 mm 塩ビパイプ 外径 130 mm
	木材	厚さ 120 mm
	軟鋼板	厚さ 19 mm
モーター		直流ブラシレスモーター
無負荷ストローク		低 速：0～1,700 min ⁻¹ {回/分} 中 速：0～2,000 min ⁻¹ {回/分} 高 速：0～2,500 min ⁻¹ {回/分} 最高速：0～3,000 min ⁻¹ {回/分}
ストローク		32 mm
工具本体寸法 全長×全高×全幅		457×251×101 mm (BSL 36A18 装着時)
質 量		4.5 kg (BSL 36A18 装着時)
LED ライト		白色 LED
使用可能蓄電池*		マルチボルトタイプ蓄電池

※ 既存の蓄電池 (BSL 3660/3626/3620、およびBSL 18xx、BSL 14xxシリーズ) は使用できません。

2. 充電器

形名		UC 18YDL			
充電可能蓄電池		リチウムイオン電池 14.4 V (BSL14xxシリーズ)、18 V (BSL18xxシリーズ)、 マルチボルトタイプ蓄電池			
入力電源		単相交流 50 / 60 Hz 共用 電圧 100 V			
蓄電池	充電電圧	14.4 V または 18 V		18 V	
	タイプ	標準	薄型軽量	マルチボルト	
	充電時間*1 [気温20℃時]	BSL 1460 : 約 30 分 BSL 1860 : 約 30 分	BSL 1430C : 約 30 分 BSL 1830C : 約 30 分	BSL 36A18 : 約 25 分	
		BSL 1450 : 約 25 分 BSL 1850 : 約 25 分	BSL 1425 : 約 25 分 BSL 1825 : 約 25 分		
		BSL 1440 : 約 20 分 BSL 1840 : 約 20 分	BSL 1420 : 約 20 分 BSL 1820 : 約 20 分		
BSL 1430 : 約 15 分 BSL 1830 : 約 15 分		BSL 1415 : 約 15 分 BSL 1815 : 約 15 分			
充電電流	12.0 A	6.0 A	12.0 A		
USB端子	充電電圧	5 V			
	充電電流	2 A			
コード		2 心ビニールコード			
質量		0.8 kg			
使用温度範囲*2		-10 ~ 40℃			
冷却		対応 (ファン付き)			
ブザー音		あり			

※1: 蓄電池の充電時間は、周囲温度や蓄電池の状態により長くなる場合があります。

※2: 周囲温度が 0℃未満のときは、充電時間が長くなります。

3. 蓄電池

形名		BSL 36A18	
蓄電池		円筒密閉形リチウムイオン電池	
電池電圧		36 V / 18 V (自動切替*1)	
容量		2.5 Ah / 5.0 Ah (自動切替*1)	
冷却		対応	
使用可能なコードレス製品*2		18 V 品 36 V 品: マルチボルトタイプ蓄電池対応製品	
使用可能な充電器		スライド式リチウムイオン電池対応充電器	
残量表示ランプ		緑色 LED	

※1: 工具本体により自動で切り替わります。

※2: 詳細は弊社総合カタログなどで確認してください。

別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください)


各種ブレード


作業の能率や仕上げを良くするには、加工物の材質や厚さに適したブレードを使うことが大切です。下の表を参照し、加工物に適したブレードをご使用ください。

- 注** ●表中に記載してあるブレードをご利用ください。表中以外のブレードも取付きますが推奨はできません。
- 表中の最大加工物寸法は、ベースの取付け位置をセーバソー本体に最も近い位置に取付けた場合の寸法です。ベースをセーバソー本体から遠ざけて取付けた場合は、最大加工物寸法が小さくなりますのでご注意ください。
 - 加工物の形状・厚さと、ブレード形状の組合せによっては切断中にロックすることがありますのでご注意ください。

【セーバソーブレード一覧】

湾曲タイプ

ブレード No.	切断目安 (mm)		山数 (インチ)	寸法 (mm)		鉄材						非鉄金属		合成樹脂		
	厚さ 	適用 管材		全長	刃厚	ステンレス材			軟鋼材			アルミ・ 黄銅・銅	塩ビなど			
						管材		板材	管材		板材		厚さ	管材		板材
						外径	厚さ	厚さ	外径	厚さ	厚さ			外径	厚さ	厚さ
No.141(S) No.141	↑ 2 以上	ステン レス 管材 厚物・	14	150	0.9	60 以下	2.5 以下	2.5 以下	60 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.142(S) No.142			14	200	0.9	115 以下	2.5 以下	2.5 以下	115 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	115 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.143(S) No.143			14	250	0.9	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	130 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.145(S) No.145	↓ 2 以下	ステン レス 管材 薄物・	18	150	0.9	60 以下	2.0 以下	2.0 以下	60 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.146(S) No.146			18	200	0.9	115 以下	2.0 以下	2.0 以下	115 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	115 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.147(S) No.147			18	250	0.9	130 以下	2.0 以下	2.0 以下	130 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.148		スパイラルダクト等の 薄物切断用	24	250	0.9	130 以下	2.0 以下	2.0 以下	130 以下	3.5 以下	3.5 以下	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60	


ブレード No.	切断目安 (mm)		山数 (インチ)	寸法 (mm)		鉄材						非鉄金属	合成樹脂		
	厚さ 	適用 管材		全長	刃厚	ステンレス材			軟鋼材			アルミ・ 黄銅・銅	塩ビなど		
						管材		板材	管材		板材		厚さ	管材	
						外径	厚さ	厚さ	外径	厚さ	厚さ	厚さ		外径	厚さ
No.152	↑ 3 以上	極厚・ ステンレス 管材【重作業用】	14	200	1.3	115 以下	3.0 以下	3.0 以下	115 以下	2.5 ~6	3.2 ~19	5 ~20	115 以下	2.2 ~15	10 ~60
No.152C			9~12 コンビ ネーション	200	1.3	115 以下	3.0 以下	4.0 以下	115 以下	3.0 ~9	3.2 ~19	5 ~20	115 以下	2.2 ~15	10 ~60
No.153			14	250	1.3	130 以下	3.0 以下	3.0 以下	130 以下	2.5 ~6	3.2 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60
No.154			14	300	1.3	130 以下	3.0 以下	3.0 以下	175 以下	2.5 ~6	3.2 ~19	5 ~20	175 以下	2.2 ~15	10 ~60
No.252CW			10~14 コンビ ネーション	200	1.3	115 以下	3.0 以下	4.0 以下	115 以下	3.0 ~7	3.2 ~19	5 ~20	115 以下	2.2 ~15	10 ~60
No.253CW			10~14 コンビ ネーション	250	1.3	130 以下	3.0 以下	4.0 以下	130 以下	3.0 ~7	3.2 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60
No.254CW			10~14 コンビ ネーション	300	1.3	130 以下	3.0 以下	4.0 以下	175 以下	3.0 ~7	3.2 ~19	5 ~20	175 以下	2.2 ~15	10 ~60

は
い
じ
め

湾曲タイプ 〈木材用・ALC用・リフォーム作業用〉

ブレード No.	用途	山数 (インチ)	寸法 (mm)		木材	ALC	鉄材						非鉄金属	合成樹脂		
			全長	刃厚			ステンレス材			軟鋼材			アルミ・ 黄銅・銅	塩ビなど		
							管材		板材	管材		板材		厚さ	管材	
							厚さ	厚さ	外径	厚さ	厚さ	外径	厚さ		厚さ	厚さ
No.157	ALC用	8	200	1.3	-	110 以下	110 以下	3.0 以下	3.0 以下	110 以下	3 ~6	-	-	-	-	-
No.155	釘入りも 切断可能	8	300	1.3	-	150 以下	130 以下	3.0 以下	3.0 以下	175 以下	3 ~6	-	-	-	-	-
No.158	木工用 リフォーム用	8	200	1.3	110 以下	-	110 以下	3.0 以下	3.0 以下	110 以下	3 ~6	-	-	-	-	-
No.156	釘入りも 切断可能	8	300	1.3	150 以下	-	130 以下	3.0 以下	3.0 以下	175 以下	3 ~6	-	-	-	-	-
江戸目 (細目)	木工用	15	200	アサリ 1.3	110 以下	-	-	-	-	-	-	-	110 以下	2.2 ~15	10 ~60	
竹の切断にも最適		15	280	アサリ 1.3	150 以下	-	-	-	-	-	-	-	150 以下	2.2 ~15	10 ~60	
江戸目 (荒目)	木工用	10	200	アサリ 1.3	110 以下	-	-	-	-	-	-	-	110 以下	2.2 ~15	10 ~60	
竹の切断にも最適		10	280	アサリ 1.3	150 以下	-	-	-	-	-	-	-	150 以下	2.2 ~15	10 ~60	

ストレートタイプ

ブレード No.	切断目安 (mm)		山数 (インチ)	寸法 (mm)		鉄材						非鉄金属	合成樹脂				
	厚さ 	適用 管材		全長	刃厚	ステンレス材			軟鋼材			アルミ・ 黄銅・銅	塩ビなど				
						管材		板材	管材		板材		厚さ	管材		厚さ	厚さ
						外径	厚さ	厚さ	外径	厚さ	厚さ			外径	厚さ		
No.111	↑	極厚・ ステンレス 管材	8~10 コンビネーション	150	1.1	60 以下	3.0 以下	3.0 以下	60 以下	4.0 ~10	3.0 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.112			8~10 コンビネーション	225	1.1	130 以下	3.0 以下	3.0 以下	130 以下	4.0 ~10	3.0 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.113			8~10 コンビネーション	300	1.1	130 以下	3.0 以下	3.0 以下	175 以下	4.0 ~10	3.0 ~19	5 ~20	175 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.101		厚物・ ステンレス 管材	10	150	0.9	60 以下	2.5 以下	2.5 以下	60 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.102			10	228	0.9	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	130 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.103			14	150	0.9	60 以下	2.5 以下	2.5 以下	60 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.104			14	228	0.9	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	130 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.114			14~18 コンビネーション	150	1.1	60 以下	2.5 以下	2.5 以下	60 以下	2.5 ~8	2.5 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.115			14~18 コンビネーション	225	1.1	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	130 以下	2.5 ~8	2.5 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.116			14~18 コンビネーション	300	1.1	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	175 以下	2.5 ~8	2.5 ~19	5 ~20	175 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.109	2 以下		↓	ステン レス 薄物 管材	18	150	0.9	60 以下	2.0 以下	2.0 以下	60 以下	2.0 ~6	2.0 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60
No.110	18	228			0.9	130 以下	2.0 以下	2.0 以下	130 以下	2.0 ~6	2.0 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.107	スパイラルダクト等の 薄物切断用	24	150	0.9	60 以下	2.5 以下	2.5 以下	60 以下	3.5 以下	3.5 以下	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60			
No.108		24	228	0.9	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	130 以下	3.5 以下	3.5 以下	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60			

ストレートタイプ 〈木材用・ALC用・リフォーム作業用〉

ブレード No.	用途	山数 (インチ)	寸法 (mm)		木材	ALC	鉄材						非鉄金属 アルミ・ 黄銅・銅	合成樹脂 塩ビなど		
			全長	刃厚			ステンレス材		軟鋼材		アルミ・ 黄銅・銅			塩ビなど		
					管材	板材	管材	板材	厚さ	外径	厚さ	外径	厚さ			
					厚さ	厚さ	外径	厚さ	厚さ	外径	厚さ	厚さ	外径	厚さ	厚さ	
No.121	木工・ ALC用	6	305	1.3	120 以下	130 以下	-	-	-	-	-	-	130 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.132	リフォーム 用	6~ 11	203	1.3	110 以下	-	110 以下	2.5 以下	2.5 以下	110 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	110 以下	2.2 ~15	10 ~60
No.131	リフォーム 用	10~ 14	305	0.9	-	130 以下	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	175 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	175 以下	2.2 ~15	10 ~60
No.5	木工用	9	120	0.9	50 以下	-	-	-	-	-	-	-	40 以下	2.2 ~5	5 ~30	
No.4	木工用	3	160	0.9	50 ~100	-	-	-	-	-	-	-	80 以下	2.2 ~10	10 ~60	

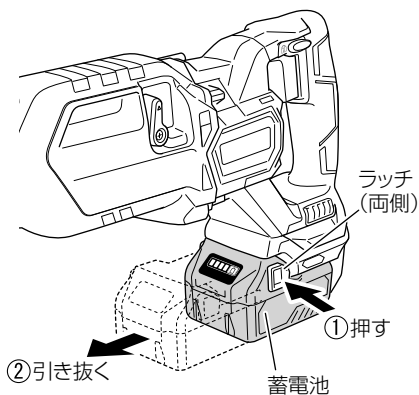
ハイス材タイプ 〈軟鋼材用・ステンレス用〉

ブレード No.	用途	山数 (インチ)	寸法 (mm)		木材	ALC	鉄材						非鉄金属 アルミ・ 黄銅・銅	合成樹脂 塩ビなど		
			全長	刃厚			ステンレス材		軟鋼材		アルミ・ 黄銅・銅			塩ビなど		
					管材	板材	管材	板材	厚さ	外径	厚さ	外径	厚さ			
					厚さ	厚さ	外径	厚さ	厚さ	外径	厚さ	厚さ	外径	厚さ	厚さ	
No.96	ステンレス 薄物用	18	120	0.9	-	-	40 以下	2.5 以下	2.5 以下	40 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	40 以下	2.2 ~5	10 ~60
No.95	ステンレス 薄物用	18	195	0.9	-	-	115 以下	2.5 以下	2.5 以下	115 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	115 以下	2.2 ~15	10 ~60

蓄電池の取りはずし・取付け

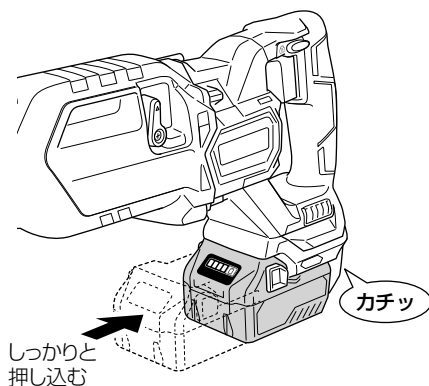
蓄電池を工具本体から取りはずすときは、両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。

取りはずすとき



蓄電池を取付けるときは、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。

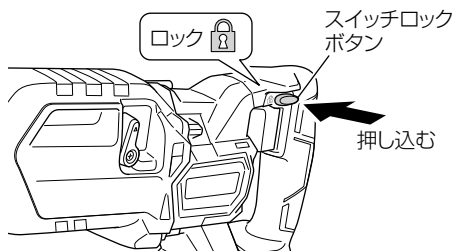
取付けるとき



スイッチロックボタンについて

誤ってスイッチを引いてもモーターが起動しないようにスイッチロックボタンがついています。

スイッチロックボタンは、しっかりと押し込んでください。



注 次の場合は、必ずスイッチロックボタンをロック側（右側）に押し込んでください。

- 作業を中断および終了したとき
- ブレードを取付け・取りはずすとき
- ベースの位置を調整するとき
- フックを使用するとき
- 保守・点検・保管するとき

スイッチについて

スイッチの引込み量で無段階にストローク数が変わります。

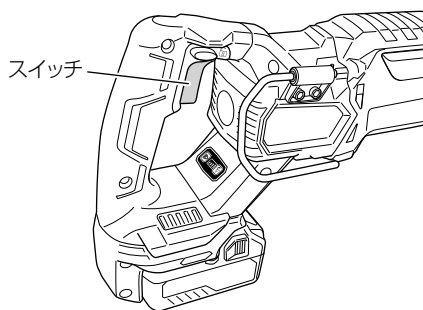
スイッチを大きく引くと、ストローク数が上がります。

切断を開始するときは、正確に切込むためストローク数を下げ、十分な切込みが得られてからストローク数を上げて（スイッチの引込み量を大）切断すると、ねらった位置に合わせやすくなります。

また、スイッチをはなすとブレーキがかかり、すぐに止まります。

注 低速で木材または鉄板の厚い材料を切断したり、低速で長い時間連続して切断しないでください。

モーターに無理がかかり、故障の原因になります。特に、切断中にブレードが停止するような無理な使い方は避け、常に滑らかに切断できるように、ブレードのスピードを調整してください。



ストロークモードについて

本機は、ブレードが前後に運動するストレートモードと、前後運動と同時に上下運動するオービタルモードを備えています。

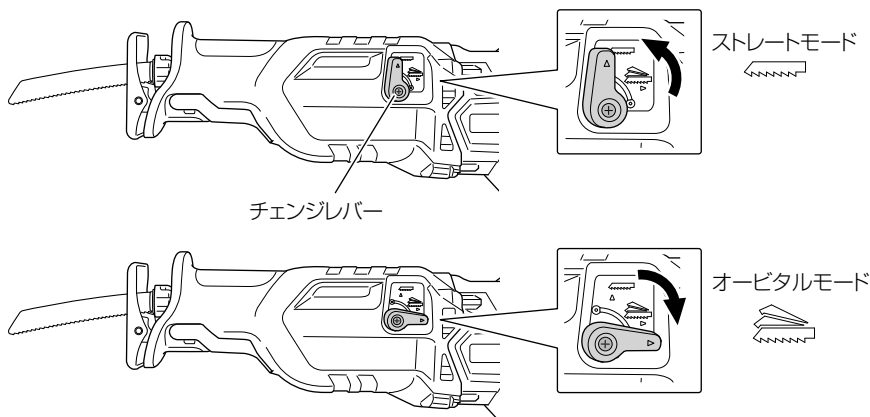
オービタルモードでは、特に木材などの軟質材において、材料への食い込みおよび切粉の排出が良くなり、切断作業がスムーズになります。

チェンジレバーで用途に応じたストロークモードを選択してください。

最適なストロークモードは切断する材料の硬さ、切断面の仕上り程度、その他の要因によって左右されるため、あくまでも目安としてご利用ください。

モード	ストレート	オービタル
運動軌跡	前後運動	前後運動 + 上下運動
材料の硬さ	硬質材 ←—————→ 軟質材	
切断速度	ゆっくりでも良い ←—————→ 速く切りたい	
仕上り程度	きれいに仕上げたい ←—————→ 粗くても良い	

- 注**
- 軟質材でも、きれいに切断したい場合は、ストレートモードを選択してください。
 - チェンジレバー部にごみやほこりが溜まると、チェンジレバーの動きが悪くなる場合がありますので、チェンジレバー部をときどき掃除してください。



ブレードの取付け・取りはずし

⚠ 警告

- ブレードの取付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、スイッチロックボタンをロック側（右側）に押し込みロックして、蓄電池を工具本体から抜いてください。
- ブレードを引っ張るときは、必ずブレードの背面を引っ張ってください。刃のついている部分を引っ張ると、けがの原因になります。

⚠ 注意

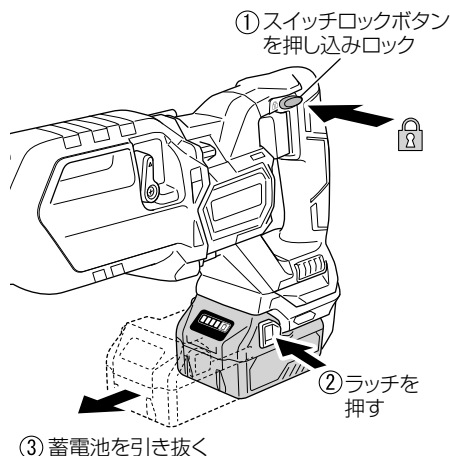
- ブレードは、切粉を良くふき取り、確実に取付けてください。取付けが確実でないと、ブレードがはずれ、けがの原因になります。
- ブレードの刃に触れないでください。けがの原因になります。

注 ブレードを交換するときには、切粉などがブレードさし込み口に溜まらないように掃除してください。

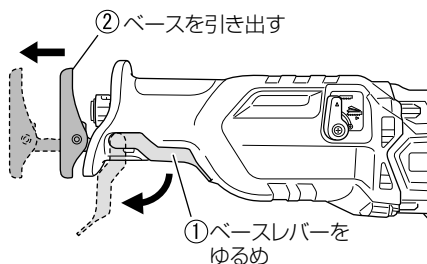
ツールレス着脱機構を搭載していますので、スパナやレンチなどの工具を使用しないでブレードの取付け・取りはずしができます。

取付け方

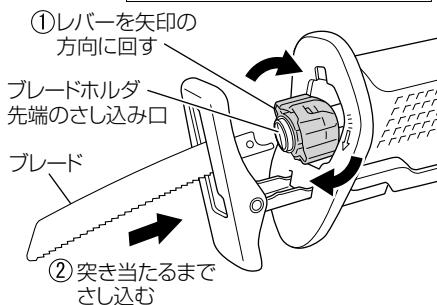
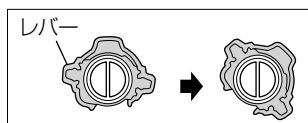
1 スイッチを切り、スイッチロックボタンをロック側（右側）に押し込み、蓄電池を工具本体から抜いてください。



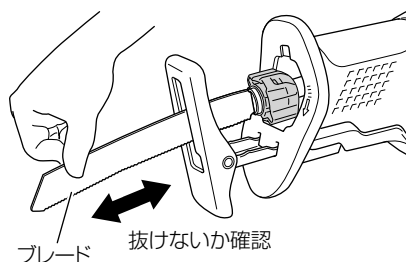
2 作業しやすいように、ベースレバーをゆるめ、ベースを引き出します。



- 3** レバーを矢印の方向に回しながら、ブレードをブレードホルダ先端のさし込み口から、突き当たるまでさし込みます。



- 4** レバーから指をはなすと、さし込み口が自動的に元の位置に戻り、ブレードが固定されます。ブレードを軽く引き、抜けないことを確認してください。



取りはずし方

取付けたときと同様に、レバーを矢印の方向に回転させ、ブレードを下に向けて、自然落下させます。

自然落下しない場合には、刃先に注意しながらブレードの背面を指で引っ張って取りはずしてください。

ブレードが折れた場合

ブレードが折れて自然落下しない場合には、次のように取りはずしてください。

- 折れたブレードの一部がスリットから飛び出している場合：
飛び出した部分を指で引っ張って取りはずします。
- 折れたブレードがスリットの内部にかくれてしまった場合：
別のブレードの先端部分を使って、折れたブレードを引っ掛けて取りはずします。



⚠注意

使用直後のブレード、ブレードホルダは、高温になっているので触れないでください。
やけどの原因になります。

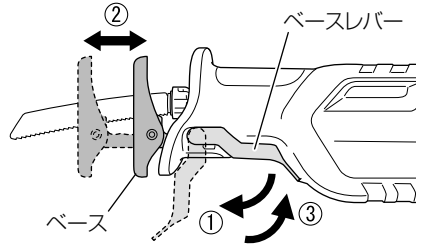
ベース位置の調整

⚠ 警告

ベース位置の調整の際は、必ずスイッチを切り、スイッチロックボタンをロック側（右側）に押し込みロックして、蓄電池を工具本体から抜いてください。

ベースの取付け位置を調節できます。切断材料の大きさに合わせ、ベースの前後位置を調節してください。

- 1 ベースレバーを右図のようにゆるめます。
- 2 ベースの取付け位置を調整します。
- 3 ベースレバーを戻し、ベースを固定します。

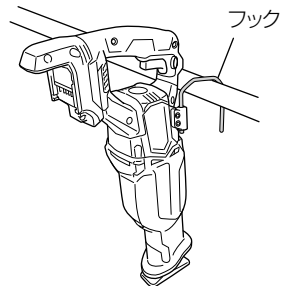
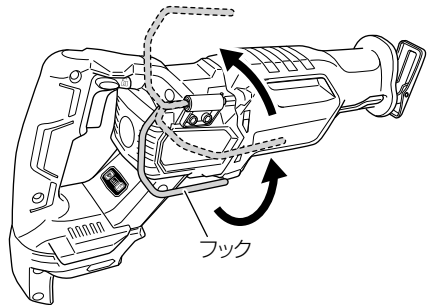


フックの使い方

⚠ 警告

- フックを使用するときは、必ずスイッチを切り、スイッチロックボタンをロック側（右側）に押し込みロックして、ブレードと蓄電池は必ず取りはずしてください。
- このフックは人体への吊下げ用ではありません。
ベルトやズボンなど人体への吊下げは、けがの原因となりますので、絶対にしないでください。
- 高所ではフックを使用しないでください。
本体が落下するなど、思わぬ事故の原因になります。
- フックを使用するとき、本体がすべり落ちたり、風などで不安定にならないことを確認してください。

フックを矢印方向に開いて使用します。使用しないときは、本体側に収納して、作業の妨げにならないようにしてください。

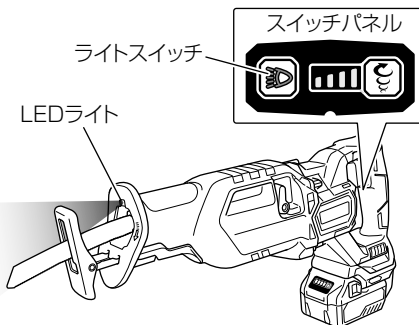


LED ライトの使い方

スイッチパネルのライトスイッチを押すたびに LED ライトが点灯・消灯します。

蓄電池の消耗防止のため、こまめに消灯してください。



注 LED ライト消し忘れによる電池の消耗を防止するため、約 60 分経過すると自動で消灯します。

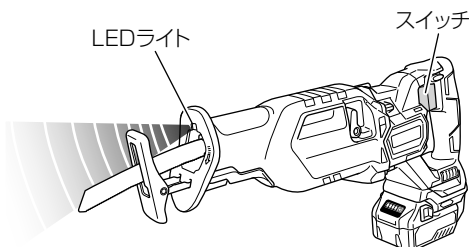


LED ライトの警告シグナルについて

本製品は、工具本体および蓄電池を保護する機能が付いており、作業中に各保護機能が作動すると、スイッチを引いている間、LED ライトが以下のように点滅してお知らせします。

各保護機能が作動したときは、ただちにスイッチから指をはなし、対処方法に従ってください。

保護機能	LED ライトの表示	対処方法
過負荷保護	0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯  (速い点滅)	大きな負荷となった原因を取り除いてください。
温度保護	0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 	本体および蓄電池を十分に冷却してください。



電池残量について

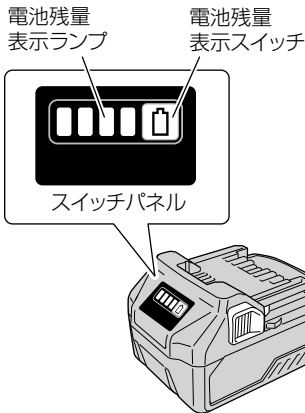
● 電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチを押してから、約3秒後にランプは消灯します。

電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので目安として見てください。

また、残量表示機能のある製品側、および充電器側の残量表示と異なる場合があります。



ランプの点灯状態		電池残量
	点灯	75% 以上
	点灯	50% ~ 75% 未満
	点灯	25% ~ 50% 未満
	点灯	25% 未満
	点滅	0%
	点滅	高温のため出力停止 ^{※1}
	点滅	故障のため出力停止 ^{※2}

- ※1: 蓄電池を工具本体より取りはずし、十分に冷ましてください。
- ※2: 蓄電池の故障と考えられますので、お買い求めの販売店にご相談ください。

● 1 充電当たりの作業量について

1 充電当たりの作業量の目安を示します。
(締付け本数は、木材の硬さ、周囲温度、蓄電池特性などにより多少異なります。)

(蓄電池 BSL 36A18 使用時)

材料 (種類)		使用ブレード	速度	モード	作業量
木材	SPF 2 × 10" 材 (厚さ 36 mm × 長さ 235 mm)	No. 132	最高速	オービタル	60 カット
鋼管	40A ガス管 (SGP40A : 外径 48.6 mm × 厚さ 3.5 mm)	No. 103	中速	ストレート	50 カット

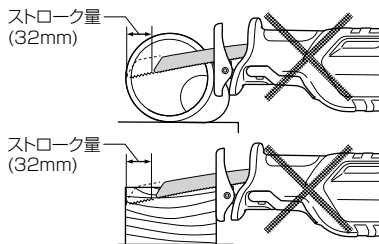
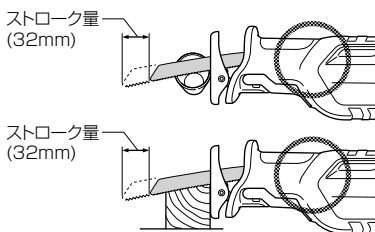
切断する

- パイプ、アングル
- 軟鋼板、アルミ板など
- ベークライト、塩化ビニールなどの各種合成樹脂
- 各種木材

警告

- フロントカバーをはずさないでください。必ずフロントカバーの上から工具本体を保持してください。
- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、スイッチロックボタンをロック側（右側）に押し込みロックして、蓄電池を工具本体から抜いてください。
- ブレードは、図に示すようにブレードの突き出し量が最小のとき、切断材料より十分出るように選んでください。

ブレードの切断能力以上の太いパイプや大きい木材などを切断すると、ブレード先端がパイプ内壁または木材に当たってブレードを折損する恐れがあります。

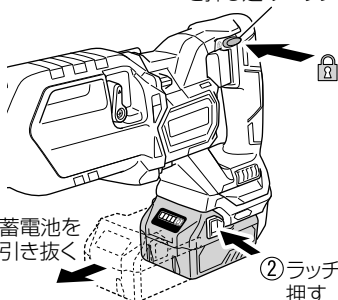


1

蓄電池を取りはずす

誤動作防止のため、スイッチロックボタンをロック側（右側）に押し込み、蓄電池を工具本体から抜いてください。（P.18「スイッチロックボタンについて」参照）

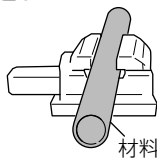
- ① スイッチロックボタンを押し込みロック



2

切断材料を固定する

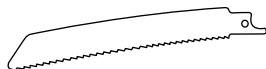
クランプや万力などで、切断材料がしっかり固定されていることを確認してください。



3

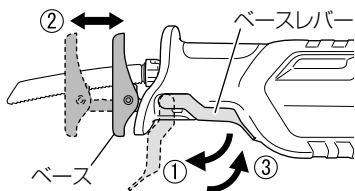
ブレードを取付ける

切断材料の材質・厚さ・大きさに適したブレード（種類・長さ）をご使用ください。（P.21「ブレードの取付け・取りはずし」参照）



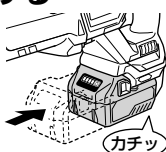
4 ベース位置を調整する

切断材料の大きさに合わせ、ベースの前後位置を調整します。(P.23「ベース位置の調整」参照)



5 蓄電池を取付ける

右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



6 スイッチロックボタンを解除する

スイッチロックボタンを解除側(左側)に押し込み、スイッチロックボタンを解除します。(P.18「スイッチロックボタンについて」参照)



7 速度調整・ストロークモードを設定する

作業に応じて設定してください。(P.19「速度調整について」、P.20「ストロークモードについて」参照)

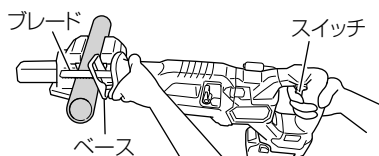


⚠️ 注意

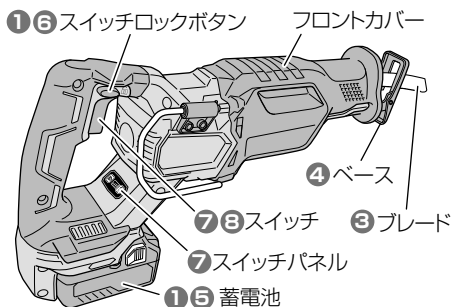
- 作業中はベースを切断材料にしっかり押し当てて切断してください。しっかり押し当てないと振動により、ブレードを損傷することがあります。
- 切断時は、無理な力を加えないください。ブレードを折損する恐れがあります。
- 小さな円弧に切断する場合は、送り速さを遅くしてください。無理に速く送ると、ブレードを折損する恐れがあります。

8 切断する

- 切断箇所にブレード位置を合わせてベースを切断材料に押し当て、スイッチを引きます。
- 金属切断時には、ブレードの寿命が短くなりますので、切削油(タービン油など)を使用してください。



注 切粉などがブレード取付け部周辺の凹部にたまるときには、その都度、清掃しながら作業してください。



注 スイッチを引きながらの状態では、設定の切替えはできません。

使い
方

窓抜き切断

●木製の合板パネルや薄板木材の窓抜き

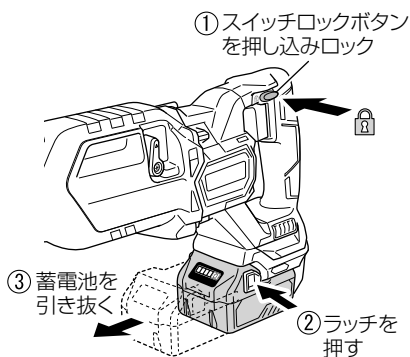
警告

- 金属材料の窓抜きはしないでください。
ブレードを折損する恐れがあります。
- ブレードの先端を材料に押し当てた状態で、スイッチを引かないでください。
ブレード先端が材料に勢い良く当たって、ブレードを折損する恐れがあります。
- 必ず機体をしっかり保持して、ゆっくりと作業してください。
無理な力を与えると、ブレードを折損する恐れがあります。

木製の合板パネルや、薄板木材の窓抜き切断ができます。

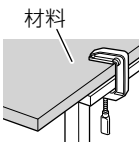
1 蓄電池を取りはずす

誤動作防止のため、スイッチロックボタンをロック側（右側）に押し込み、蓄電池を工具体体から抜いてください。（P.18「スイッチロックボタンについて」参照）



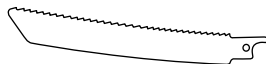
2 切断材料を固定する

クランプなどで、切断材料がしっかり固定されているかをご確認ください。



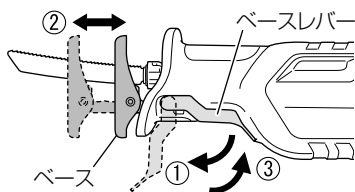
3 ブレードを取付ける

- できるだけ短くて、厚いブレードをご使用ください。（P.13～16「別売部品」参照）
- ブレードを上下逆向きに取り付けると、開始穴が明けやすくなります。（P.21「ブレードの取付け・取りはずしについて」参照）



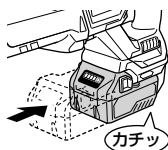
4 ベース位置を調整する

ベースを本体に一番近い位置にします。（P.23「ベース位置の調整」参照）



5 蓄電池を取付ける

右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



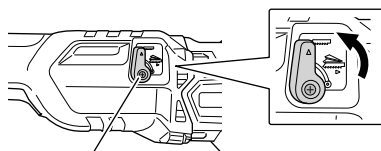
6 スイッチロックボタンを解除する

スイッチロックボタンを解除側（左側）に押し込み、スイッチロックボタンを解除します。（P.18「スイッチロックボタンについて」参照）



7 速度調整をストレートモードに設定する

スイッチを一度引いて、現在の速度調整を確認し、ストレートモードに切替えます。（P.19「速度調整について」参照）

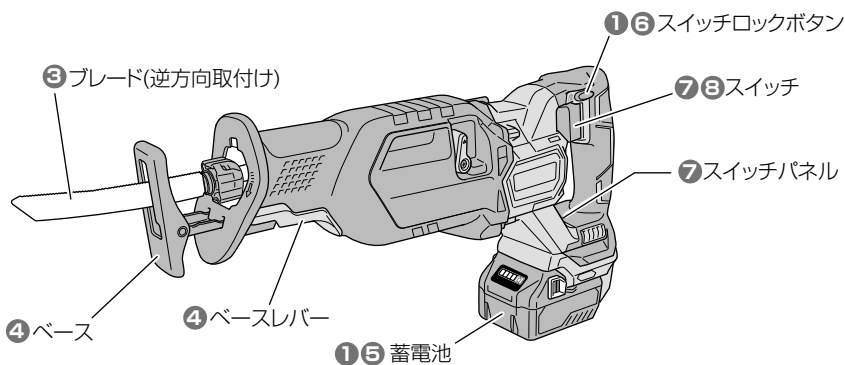


チェンジレバー

注 スイッチを引きながらの状態でも、モードの切替えはできません。

8 窓抜き切断をする

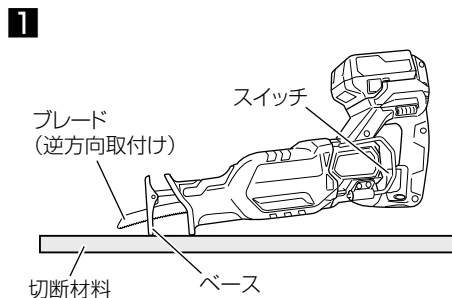
P.31「窓抜きのコツ」を参照してください。



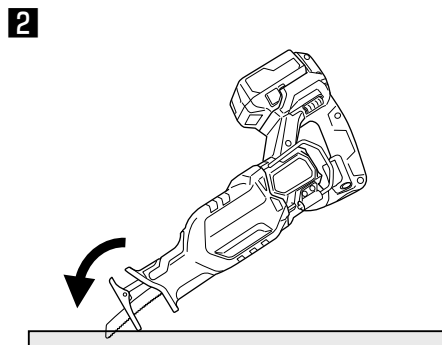
●窓抜きのコツ

ブレードを逆方向に取付けると、機体をより寝せた状態で切り込みを開始できるため(下図 1 参照)スムーズに窓抜きの開始穴をあけることができます。

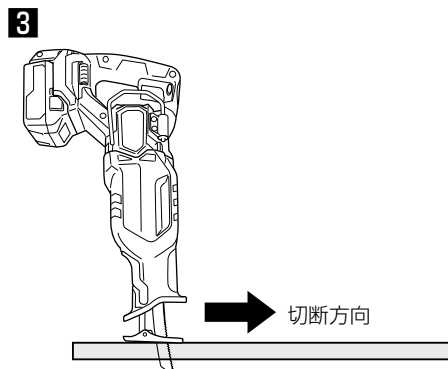
- 1 材料にベースを押し当て、ブレードの先端を材料からはなした状態で、スイッチを引きます。



- 2 スイッチを軽く引き、スピードがゆっくりな状態で少しずつ穴をあけます。



- 3 スイッチをいっぱい引き、少しずつ進めます。



作業上のご注意

●連続作業について

本機はモーターおよびモーターの駆動制御を行っている電子部品を保護するため、温度保護回路が搭載されています。

連続的に作業を行うと、機体の温度が上昇するため温度保護回路が作動し、自動停止する場合があります。その際は機体を十分に冷却してください。

温度が下がれば再び使用することができます。

また、連続的に作業する際は、蓄電池の交換時に工具本体を 15 分程度休ませてからご使用ください。

●変速スイッチについて

スイッチにはストローク数を無段階に変速する電子回路が内蔵されています。

従ってスイッチの引き込み量が少ない状態（低速回転域）で、モーターを停止させる作業を連続的に行うと電子回路部品の温度が高くなり、故障の原因になります。

●工具の保持と押しつけ力について

工具本体は両手で確実に保持してください。また、工具本体は必要以上に押しつける必要はありません。

工具本体をこじる力や押しつける力が過度にかかると、工具本体の故障の原因になりますのでご注意ください。

蓄電池を充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残り少なくなったときは、次のように充電してください。

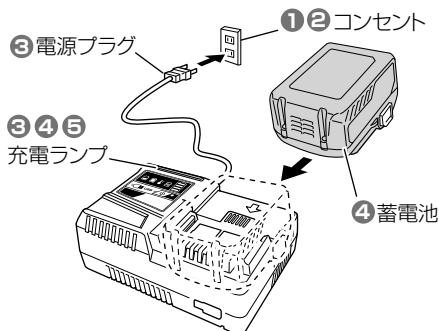
⚠ 警告

手順 ①、②については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

充電時間

BSL 36A18 : 約 25 分

注 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。



1 電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。200 V 電源や直流電源、昇圧器などのトランス類を使用しないでください。

2 コンセントを確認する

コンセントがガタついたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

充電ランプが赤の点滅を繰り返します。(P.34「充電ランプの表示について」参照)

4 蓄電池を充電器にさし込む

- 蓄電池をしっかりと突き当たるまでさし込んでください。
- 充電を開始すると、充電ランプが青に連続点灯して、充電開始をお知らせします。
- 充電中は、電池容量ランプで充電容量を表示します。

5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と6秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電状態を表示する「充電ランプ」がついています。
各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ	ランプの表示			表示内容
充電ランプ (赤/青/緑/紫)	充電前	赤点滅	0.5秒点灯/0.5秒消灯 	電源にさし込んだ状態
	充電中	青点灯	連続点灯 	
	充電完了	緑点灯	連続点灯 (連続ブザー音:約6秒)	
	高温待機	赤点滅	0.3秒点灯/0.3秒消灯 	蓄電池の温度が高くて充電できない (温度が下がると自動的に充電を開始)
	充電不可	紫の速い点滅	0.1秒点灯/0.1秒消灯 (連続ブザー音:約2秒)	充電器または蓄電池の端子部に異物が入っている

注 一度充電が完了した後、次の充電まで5分程度休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。

●電池容量ランプについて

電池容量ランプによって、充電中の電池の充電容量を確認することができます。

ランプの表示と電池容量は以下のようになっています。

電池容量ランプ



ランプの表示					
電池容量	25% 未満	50% 未満	75% 未満	75% 以上	充電完了

電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

注 充電完了後、しばらくすると電池容量ランプは消灯します。

⚠警告

- 使用前に、接続する USB ケーブルが損傷していないことを確認してください。損傷した USB ケーブルを使用すると、発煙・発火の原因になります。
- 使用しないときは、USB 端子にゴムカバーを被せてください。USB 端子にほこり等が付着すると、発煙・発火の原因になります。

充電器 UC18YDL には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

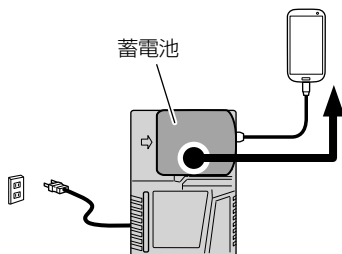
電源のない場所で弊社のリチウムイオン電池から携帯電話などの USB 機器を充電することができます。

- 注**
- USB 機器と蓄電池の充電を同時に行うと、充電時間が長くなります。
 - USB 機器の充電が途中一時停止する場合があります。(詳細は、P.41「故障診断」参照)。
 - USB 機器を充電しないときは、USB 電源スイッチを OFF にして、USB 機器を充電器から取りはずしてください。USB 機器の蓄電池寿命(充電回数)を縮めたり、思わぬ事故の原因になります。
 - USB 機器の種類によっては、充電できない場合があります。

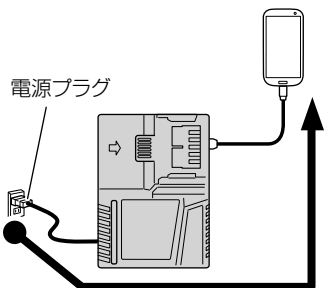
1 充電方法を選択する

充電方法に応じて、蓄電池を充電器にさし込むか、電源プラグをコンセントにさし込みます。

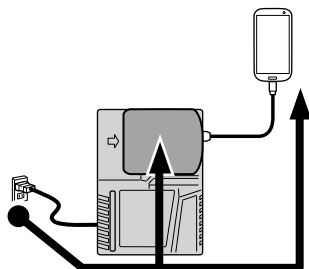
蓄電池から USB 機器を充電



100V コンセントから USB 機器を充電



100V コンセントから蓄電池と USB 機器を同時に充電



2 USB 電源スイッチを ON にする

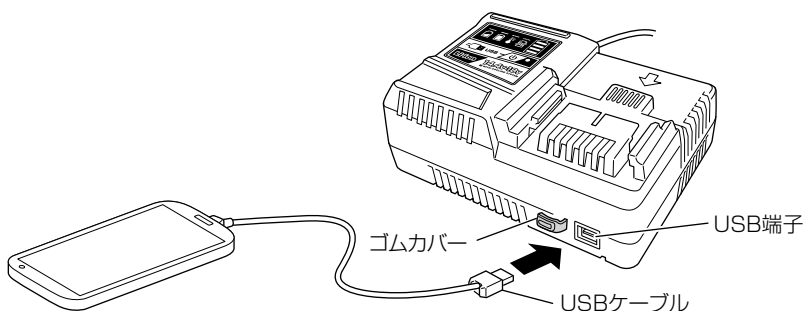
USB 電源スイッチを ON にすると、USB 電源ランプが点灯します。



USB電源スイッチ
USB電源ランプ

3 USB ケーブルを接続する

ゴムカバーをめくり、ご使用の製品に合った市販の USB ケーブルを USB 端子に奥までしっかりとさし込みます。



- 電源プラグをコンセントにさし込んでいない場合、蓄電池の容量がなくなると、USB 電源ランプが消灯して出力が停止します。
- USB 電源ランプが消灯したときは、電源プラグをコンセントにさし込むか、蓄電池を交換してください。

4 充電が終わったら

- USB 機器の充電が終わっても、USB 電源ランプは消えません。充電状態は USB 機器で確認してください。
- USB 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 充電器から蓄電池を抜き取り、USB 端子にゴムカバーを被せてください。

保守・点検

⚠ 警告

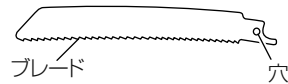
- 保守・点検の際は、必ずスイッチを切り、スイッチロックボタンをロック側（右側）に押し込みロックして、蓄電池を工具体体から抜いてください。
また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- エアーガンなどを用いて清掃する際には、保護メガネと防じんマスクを使用してください。
飛ばされた切粉を吸い込んだり、目に入る可能性があります。

● ブレードの点検

切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率も落ちます。早めに新品と交換してください。

⚠ 注意

穴部が摩耗したブレードを使用しないでください。
作業中にはずれると、けがの原因になります。

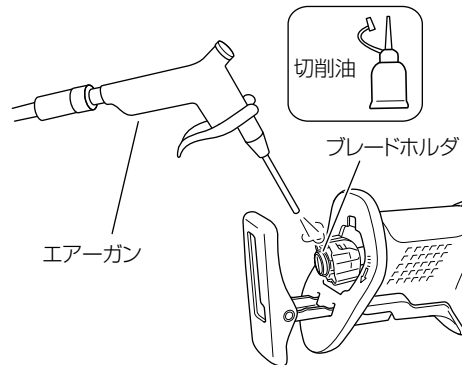


● ブレード取付け部の清掃・注油

ブレード取付け部をいつも円滑に動かすため、ご使用後は、切粉・土・砂・水分などをエアーで吹き飛ばすか、ブラシなどで清掃してください。

ブレードホルダ周辺部に切削油などを定期的に注油してください

注 ブレード取付け部周辺の凹部に切粉・土・砂・水分などを付着したままにしておくと、ブレードホルダ周辺部がさびついて機体内部の故障の原因になります。



●モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）(P.9「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させてください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります
異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●作業後の保管

作業後は、温度が 50℃未満で、お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。

注

- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
- 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
- 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

●端子部（工具本体、蓄電池）の点検

端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。
作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

⚠注意

端子部に切りくず、ほこりがたまっている場合は、取り除いてください。
そのまま使用すると、故障の原因になります。

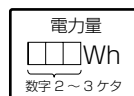
● リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が100 Whを超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。



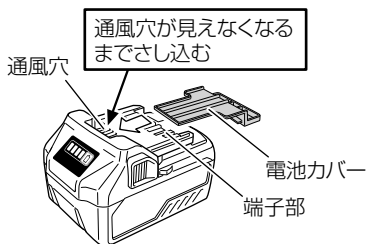
BSL36A18

● リチウムイオン電池の保管について

⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。
- 充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命がつかたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
また、蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組でご持参ください。

1. 工具体

状況	原因	対策
動かない	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
突然止まった	過負荷になった	大きな負荷を与えた原因を解消してください。 作業時の押し付け力を弱めてください。
	蓄電池または本体が過熱状態になった	蓄電池および本体を十分冷ましてください。
	5分以上連続してスイッチが引かれた	故障ではありません。 誤作動防止のため、モーターを自動停止します。
先端工具が 取付かない 抜ける 抜けない	取付け部形状が合わない	適切なブレードを使用してください （「別売部品」参照）
	レバーが開いている	レバーを閉じてください。
	ブレードの取付け穴が破損している	新しいブレードに交換してください。
	ブレードホルダ内に異物が入っている	異物を取り除いてください。
スイッチが引けない	スイッチロックボタンを押し込んでいる	スイッチロックボタンを解除してください。
スイッチを引くと 異音（ピー）がする	スイッチの引き量が小さい	故障ではありません。 引き量を大きくすると発生しません。
ブレードがすぐ消耗する	ストローク数が速い モードが適切ではない	モードを現在より低いモードに切替えてください。 （ステンレス管切断時は、低速に切替えてください。） （「速度調整について」参照）
	金属切断時に切削油を使用していない	切削油（タービン油など）を使用してください。
	作業時の押し付け力が強すぎる	作業時の押し付け力を弱めてください。
切断が上手に出来ない	加工物の材質や厚さに適したブレードを使用していない	適切なブレードを使用してください。 （「別売部品」参照）
	切断材料の長さに対して、ブレードが短い	
	加工物の材質や厚さに適した速度調整になっていない	適切な速度調整に設定してください。 （「速度調整について」参照）
	ブレードの摩耗・劣化・破損	新しいブレードに交換してください。
蓄電池が取付かない	指定以外の蓄電池を取付けようとした	蓄電池はマルチボルトタイプを使用してください。

2. 充電器

状 況	原 因	対 策
充電ランプが紫の速い点滅を繰り返し、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池の取付部または蓄電池の端子部に異物が入っている	異物を取り除いてください。
充電ランプが赤く点滅して、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池が高温になっている	そのままの状態でも、蓄電池の温度が下がると自動的に充電を開始しますが、蓄電池の寿命を縮める原因になります。蓄電池を風通しの良い日かげなどで冷ましてから、充電することをおすすめします。
満充電をしても、蓄電池の使用時間が短い	蓄電池の寿命が尽きた	蓄電池を新品と交換してください。
蓄電池の充電時間が長い	蓄電池や充電器の温度、周囲気温などが極端に低い	室内など暖かい場所で充電してください。
	充電器の風窓がふさがった状態になっているため、充電器内部が高温になっている	風窓がふさがっていないようにしてください。
	冷却ファンが回っていない	販売店に修理を依頼してください。
USB 電源ランプが消灯して、USB 機器の充電が停止した	蓄電池の電池残量が少なくなった	電池残量がある、蓄電池と交換してください。
		充電器の電源プラグを 100 V コンセントにさし込んでください。
USB 機器の充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	USB 電源ランプは、USB 機器の充電ができる状態にあることを緑色の点灯で表示している	故障ではありません。
USB 機器の充電状態や充電完了がわからない	USB 電源ランプは、充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	充電中の USB 機器で確認してください。
USB 機器の充電が途中で一時停止した	蓄電池を供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器の電源プラグを 100 V コンセントにさし込んだ	故障ではありません。 充電器が供給元電源を判別するため、約 5 秒間 USB 機器の充電を停止します。
	100 V コンセントを供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器に蓄電池をにさし込んだ	
蓄電池と USB 機器を同時に充電中、USB 機器の充電が途中で一時停止した	蓄電池が満充電となった	故障ではありません。 蓄電池が正常に充電完了したことをチェックしているため、約 5 秒間 USB 機器の充電を停止します。
蓄電池と USB 機器を同時に充電する際、USB 機器の充電が開始しない	蓄電池の電池残量が極端に少ない	故障ではありません。 蓄電池の電池残量があるレベルに達すると、自動的に USB 機器の充電を開始します。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00 ~ 17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>